

## 不具合の修正方法

情報カライトを使用中にいろいろな不具合が発生することがあります、主な原因はマイクロソフトによるWindowsのアップデートやパソコンの故障、他のソフトとの競合などです。

Windowsのアップデートはなぜ行われるのか？...世界中のハッカーがWindowsを狙ってパソコンの中にあるデータを盗み取る、ウイルスを仕掛けています。  
パソコンやスマホの中には大事な個人情報、クレジットカードデータ、などお金になるデータが含まれています。  
カードデータを盗まればカードデータだけで買い物ができるでしてしまいます。  
それだけではありませんテレビなどで紹介されていますように、パソコンを乗っ取って使えなくして、元に戻したければ何百万払えなどの身代金要求なども発生しています。  
(絶対に払ってはいけません、払っても元には戻りません)

これらはパソコンの脆弱性を突いて侵入する手口です。

またAmazonや楽天などをよそってアカウントが一時的に停止されましたとか言ってメールから偽サイトに誘導しカード番号を入力させて盗み取る手口も頻発しております。

マイクロソフトはこれらの脅威からパソコンを守るために見つかった脆弱性のところを修正しています。これがアップデートの役割です。

パソコンを守るためにはパソコンを常に最新の状態にしておくことが求められます。

### Windowsアップデートの方法

マイクロソフトから強制的に送られてくるアップデート...パソコンの電源を切るときに更新してシャットダウンするなどのメッセージが出る場合、または今すぐ再起動するなどのメッセージが出る場合がこれに当たります。

手動でアップデートする場合...スタート→設定(歯車のマーク)→更新とセキュリティの更新プログラムのチェックを押す...これでアップデートがあれば取得できます。

アップデートが行われれば、お使いのパソコンでアップデートプログラムと既存のプログラムで合わない部分が出てきます。

ここでさらに手動でアップデートのするを実行すると、合わない部分のプログラムを取得できます。  
このプログラムはすぐにできるわけではありません、一定の時間がかかる場合があります。

もう一つ情報カライトはMicroSoftOfficeの中のAccessというプログラムで作られております。  
Windowsアップデートが行われとAccessのプログラムの整合性が取れない場合、情報力のエラーになります。

エラーを解消するためにはWindowsとAccessを最新の状態にする必要があります。

それとごくまれに情報カプログラムが何らかの原因で壊れている場合があります。

販売店さんへのお願い...情報カプログラムを再インストールで何とかなりますがデータはどうにもなりませんのでプログラムを終わる場合必ずバックアップして終了を実行してください(データを変更した場合)

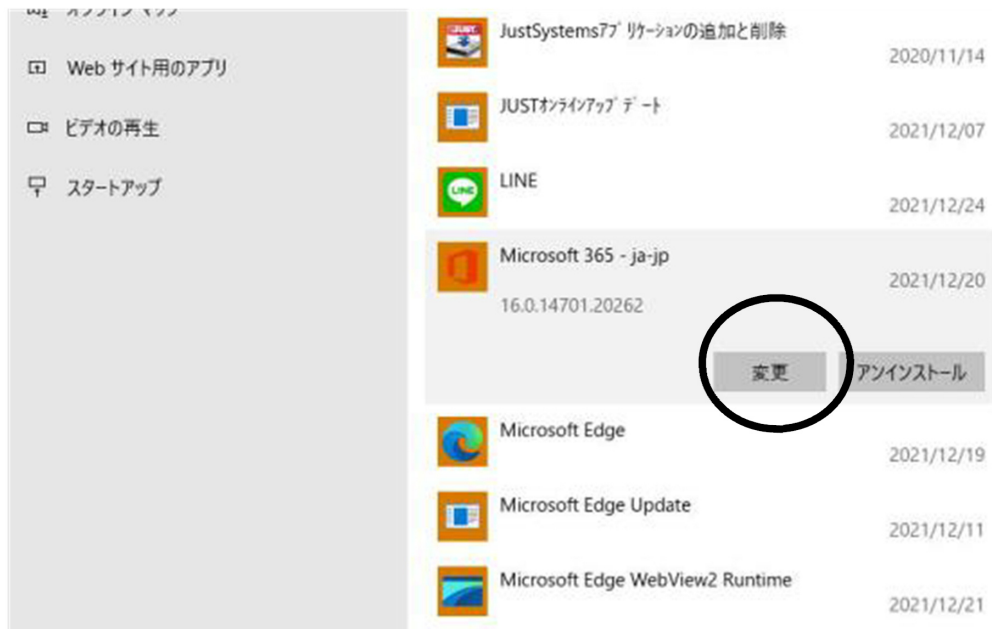
### Windowsアップデートの方法、Accessの修復の方法、情報カライトの再インストールの方法

スタート→設定→更新とセキュリティ→更新プログラムのチェック、最新ですになっても更新プログラムのチェックを押す、これを2-3回繰り返す。

累積更新プログラムとか品質更新プログラムなどが適用になります。

## Accessの修復方法

スタート→設定→アプリからMicroSoft365またはAccessRuntimeを選択して変更を押す



オンライン修復を押す...少し時間がかかります 途中で何もしていないようになりますがそのまましばらく待っていると、修復が完了しましたになります。

これでAccessの修復は終わりです

## 情報ライト再インストール方法

(WindowsアップデートとAccessの修復を実行してまだエラーが解消できない場合は実行してみてください)

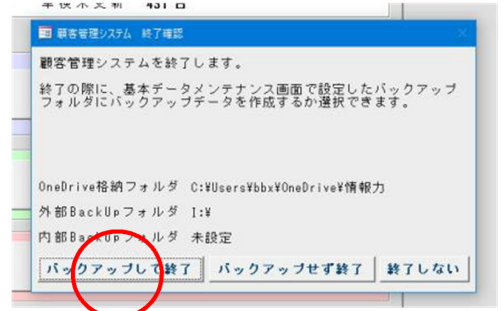
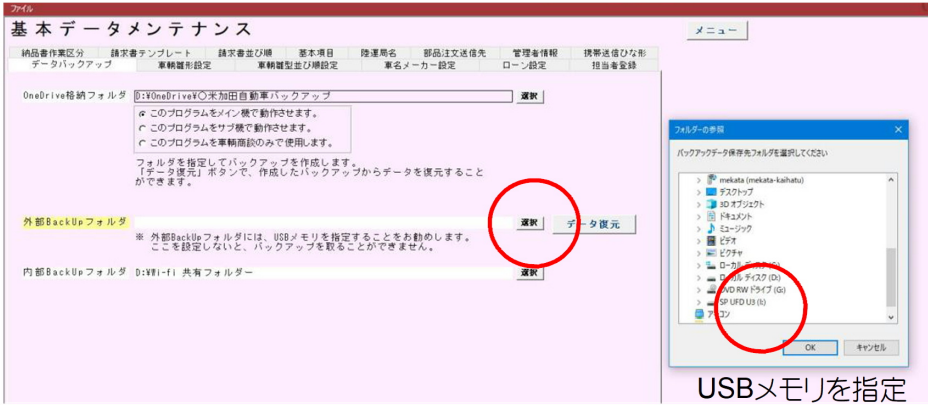
インストールするパソコンがWindows10 64ビットを前提にご説明します

もしできるなら一回、別のパソコンにインストールしてみてデータが復元できるか確認されてから本物にインストールすることをお勧めします。

入力したデータがある場合は必ずバックアップを取ってから実行してください(そのままインストールするとデータが消えます)

メニュー→設定→データバックアップ (USBメモリを指定します)

指定が終わったらメニューに戻り終了ボタン バックアップして終了する



バックアップして終了ボタンが押せない場合はUSBメモリが抜けているなどバックアップができない状態です

バックアップが取れているか確認する



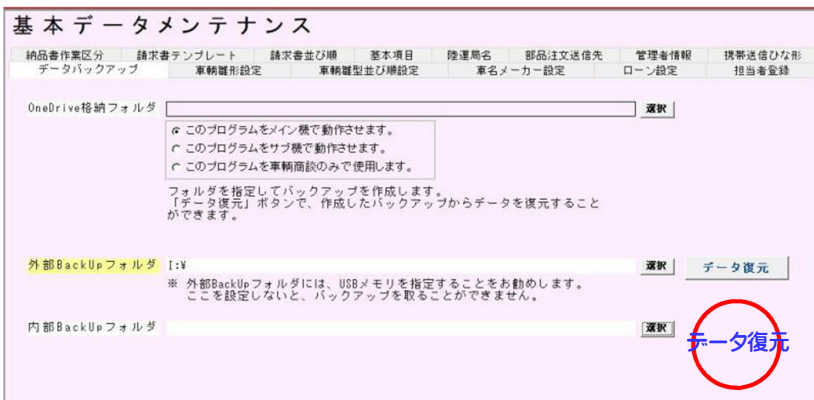
フロッピーのマークでUSBメモリをクリック日付のマークになっているか今日の日付になっているかを確認する(日付をクリックするとデータが見えます)

スタート(左下)→歯車のマーク→アプリで下の方にある情報ライトをアンインストールする



ここまでしたらCDを入れる→別紙のインストールガイドをよく読んでインストールします。

インストールが終わったらデータを外部バックアップまたは内部バックアップファイルから復元します



日ごろから入力したら必ずバックアップを取って終わるようにしましょう  
バックアップは3か所にとれるようにしてあります、プログラムは復活できますがデータは復活できません

もしUSBメモリが抜けていたり壊れていたりしたらデータを失いことになりかねません  
必ず3か所にとっておきましょう。

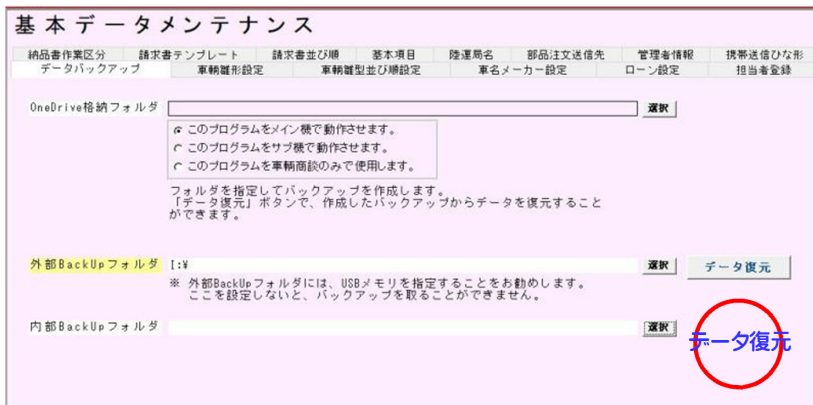
会社名などが初期化されていますので設定します

エラーが出た状態でバックアップを取った販売店さんは(データが抜けているなど)そのバックアップからデータを復元してもデータが戻らない場合があります、以下の方法で前回のバックアップから復元できます。

情報カライトVer7.4の場合 スタート→ドキュメント→ローカルディスク(C)の中の情報カライトbackupを開きます。

20220625	バックアップを取った日付が並んで います最高10回分まで	20220625
20220626		20220626
20220627		20220627
20220628		20220628
20220629		20220629
20220701		20220701
20220702		→最後にバックアップを取った日付です (エラーが出た後バックアップを取った場合)

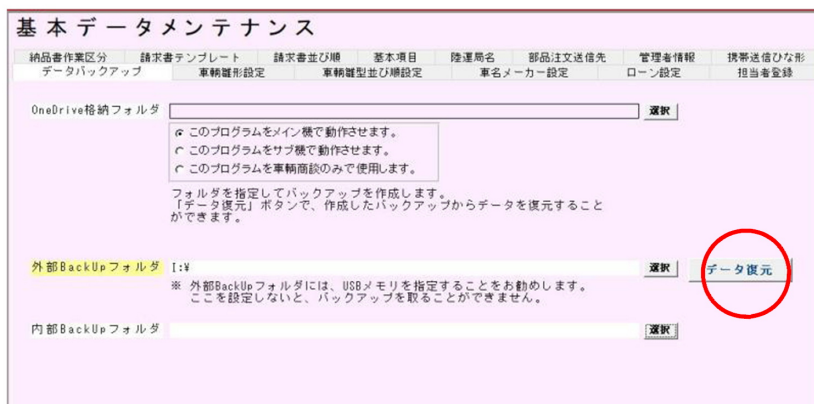
情報カライトプログラムは日付の新しい方からバックアップ復元しますのでAを付けると日付と認識しなくなりますので前日の20220701が最新になり前日から復元します。  
一日分のデータはなくなりますが、エラーは回避されます、このことから毎回バックアップを取って終了するようにお願いします。



内部バックアップフォルダから復元します

情報カライトVer7.3以前の場合 スタート→ドキュメント→ローカルディスク(C)の中の情報カライトbackupを開きます。

上と同じように名前の変更をして復元します



外部バックアップのフォルダの指定をローカルディスク(C)情報カライトbackupと指定して復元ボタンを押します。

復元ができればUSBメモリなどに変更しておきましょう

会社名などが初期化されていますので設定します